

特集
まちづくり座談会

一緒に滑ると、楽しさ倍増

2月21日、朝日少年自然の家の敷地内に設置された雪の滑り台を使用して、ドキドキ自然体験塾スノーチューブ滑りが開催されました。一緒に滑るとさらに盛り上がり、子どもたちはお互いの足がっちり持ちながら楽しそうに滑っていました。(11ページに関連記事)

平成27年

3

No.649

まちづくり座談会

平成26年度

町長と語ろう！

「ここに暮らす喜びをみんなが実感できる町づくり」を進めるため、渡邊町長と町民の皆さんが意見を交換し合う『町長と語ろう！まちづくり座談会』が、平成26年8月28日から平成27年2月26日にかけて町内16地区でおこなわれました。お忙しい中にもかかわらず、各会場で大勢の方からお集まりいただきました。

参加された皆さんは、町政への疑問や質問、地区の抱える問題について、町長をはじめ、副町長、教育長とともに話し合いました。今回は各座談会で交わされた意見や議論の概要をお伝えします。

□ まちづくり

■コミュニティ助成事業に申請をおこなっていますが、なかなか採択されません。一方で一回で採択された地区もあると聞ききます。

政策推進課長：コミュニティ助成事業には、公民館を建てる事業と備品購入などへ助成する事業の、大きく二つがあります。この事業は全額補助という魅力的なものです。採択については(財)自治総合センターが

おこなっており、町で決めることができないものです。今年度は、補助枠が厳しい公民館建設補助に蛍水区が、備品では8区の防犯灯のLED化、9区の防災倉庫、防犯器具などが採択されました。

■大江西川線の貫見、沢口間の工事完成によるメリット・デメリットはどのようなものがあるでしょうか。

町長：道路を作るには用地がたくさん必要です。先祖から受け継いできた財産ですから、山形県からは地域の利益になる道路を作ってもらいたいと思っています。一方で道路は繋

がらないと効果がないといわれます。もし貫見から大井沢トンネルまで広い道路で繋がると、交通の便が良くなり、経済のよい循環が発生すると考えています。

■ふるさと納税の競争が激化しているように感じています。大江町はこれから人口減少、年金暮らしの方が多くなるので、少しでも税収を増やしていかなければならないと思います。町ではどんな取り組みをしますか。

町長：今年度の大江町のふるさと納税額は約280万円です。全国には数



▲今年度最初の開催となった望山区(8/28・望山区コミュニティセンター)

億円のふるさと納税がある自治体もあります。その特典をみると、海産物や牛肉、旅館の宿泊券などとても豪華です。その豪華さの競争に加わるのかは、よく検討して決めたいと思っています。ただし、町の制度としてしっかり訴えたいことから、納税した場合どのような特典がもらえるのか、インターネットのサイトに大江町の情報を掲載したいと思っています。特典も米や果物、やまがた地鶏、真麻うどんなど15品目ほど用意する予定です。



町長のあいさつ および町政報告の要旨

- ◎テルメ柏陵健康温泉館は新浴室棟など全面的にリニューアルし、柏陵荘も眺望風呂を露天風呂に改修しています。現在、町内の温泉施設には16の浴槽があり、これだけ多くの施設をどのように維持していくか検討していきます。
- ◎人口を増やす取り組みとして、定住人口の増加をねらい、藤田地区に21区画の新たな住宅団地を造成します。また、大江町で新たに農業を始めようとする方々を積極的に受け入れます。その一環として望山区内に新規就農者用住宅を整備しました。
- ◎県道大江西川線では、貫見から沢口間をつなげる工事の目途がたちました。今年度は貫見から橋をかける準備がすすめられています。
- ◎七軒地区の魅力的な資源を生かす試みとして来年度から旧七軒西小学校が山里交流館「やまさあーべ」としてオープンします。管理運営は地元住民で組織する「さわらび会」が担当することとなります。町民の皆さんからもぜひご協力をお願いします。

農林業

■新規就農者として町の支援はありがたく思っています。そこで気づいた点を何点が提案させていただきま。地域で農業を引退された方のクワなどの農具を回収して保管・共有できるように体制を整えていただきたいと思います。2つ目は今年度完成した新規就農者用住宅です。新規就農者に、それだけの住宅を建てなければならぬのか疑問です。地域にもともとある、空き家の有効活用の方が良いのではないかと思います。

町長：一番目はすばらしい提案ですので、担当課で検討し具体化していきたいと思えます。2番目の新規就農者用住宅ですが、より多くの方に大江町で新規就農してもらいたいという思いと、大江町型住宅として建築することで、七軒地区の町有林を活用したいという思いがありました。町有林は、町づくりの助けになればと、これまで七軒地区の方々によって大切に育てられてきたものです。その労にむくいるためにも、有効に使用したいという思いがありました。

■町内の農地を維持するためには、

今後どれほど人手がいるのか、この田んぼ、畑、農地は何年後引継手がなくなるのか、誰が受け継ぐのか、将来的な見通しをデータ化するべきだと感じています。

町長：町では住宅地図に家族構成と年齢、土地の境界、跡継の有無、10年後予測、耕作放棄地という区分けをしてデータ化をはじめています。その中で耕作放棄地については、プライバシーの侵害にあたらない範囲で公表していきたいと思えます。

■林業によって地元経済効果を発生させる取り組みはないでしょうか。

◀伏熊区（10/7・伏熊公民館）





▲上北山区 (12/16・上北山公民館)



▲小清区 (11/28・小清公民館)



▲梨木原区 (2/3・梨木原構造改善センター)



▲黒森区 (1/20・黒森公民館)

町長：昨年町では、31軒の新宅が建築されました。その内、25件はハウスメーカー、6軒が町内大工さんによる建築です。その6件のうち西山杉を利用したのは2件のみです。費用がかかるのか、宣伝が不十分なのか、いろいろと原因はあると思いますが、西山杉を使う際、町で最大で100万円の補助金があるにもかかわらず、メーカーの営業に負けているということだと思います。町でも打開策を検討していきたいと思っています。

政策推進課長：森ノミクスという県の事業に、大江町がモデル町に選出されました。現在、政策推進課、農林課が窓口となって農林業の振興や旧七軒小学校山里交流館の利活用を通じた七軒地区の活性化について、県職員との合同研修会などによりアドバイスをいただいています。

■七軒地区の収入を増やすために、**山菜を目玉のひとつにしていきたいと考えています。山菜について町の取り組みはないでしょうか。**

町長：山菜については、5月24、25日に全国山菜サミットを開催します。全国から関係者が集まるこのサミットをきっかけに、山菜の販売など、収入になるようなアイデアを考えたいと思います。

教育長のあいさつおよび教育行政報告の要旨

- ◎大江中学校の生徒11名が昨年、アメリカ合衆国モンタナ州を訪問しました。子どもたちも異国の文化、習慣を体験し、大いに刺激を受けてきました。来年度以降も継続し、町の教育の一つの柱にしたいと考えています。
- ◎中央公民館は、建築から40数年が経ち、さまざまな箇所で大不具合が確認されたため全面的に改築することとしています。内部には図書館やホール、くつろぎコーナーなども配置し、幅広い年齢の方に満足していただける施設になっており、平成28年度早期の完成を目指しています。
- ◎旧三郷小学校は、山形県立楯岡特別支援学校大江校として利用されます。春の開校に向け、現在、山形県が準備を進めています。



子育て・教育

■新しい中央公民館には、子どもを室内で遊ばせることができるコーナーは設置されますか。

教育長：新しい中央公民館の中には、図書館を設置し一般の方が本を探したり、本を読んだりするコーナーを広く確保しています。それ以外にも、学習ルームや子どもたちが遊べるキッズルーム、お母さんが小さいお子さんに絵本を読み聞かせできるコーナーも設置します。

■町内に保育園はたくさんありますが、学童保育はどこでおこなっているのでしょうか。若い夫婦が子どもを預けて共働きできる体制にしてほしいです。

副町長：学童保育については、あゆみこども園に放課後児童クラブが併設されており、町の委託を受けて運営しています。放課後や学校休業日に、保護者が仕事のため家庭に不在となる児童の生活の場として、利用者が増えています。また町では、小学生の居場所づくりとして、放課後子ども教室をおこなっています。

町長：町内には、町立のさくら保育

園、わかば保育園、私立のあゆみこども園、大江幼稚園の4つがあります。町では、さくら保育園とわかば保育園を統合する予定です。

くらし

■デマンドタクシーについて、バス停から何m以上という規定があると思いますが、指定地域を広げてもらえないでしょうか。

町長：デマンドタクシーは、鉄道駅から半径2km、バス停留所から500m以上離れた地区を対象エリアとして運行しています。これは、町の地域公共交通会議で定められたもので、対象エリアを拡大するには公共交通事業者や運輸支局などの承認・許可が必要です。既存の公共交通機関と競合しないことなどさまざまな条件があり、対象地区を拡大することは難しい現状ですが、交通弱者の移動手段確保のため、対策を考えていきたいと思っています。

■地区に空き家があります。防犯や景観上など、さまざまな問題があります。野生動物が出入りし、火事などの心配もあります。町で空き家を

撤去できないでしょうか。

町長：概算ですが、現在町の戸数は約2900戸で、その中で空き家は240戸ぐらいです。町の空き家率は約8%、全国平均も約8%であり、田舎の町としては普通だと思います。空き家はさまざまな問題がありますが、個人の財産でもあるので、なかなか町では手が出せない現状です。ただし、空き家対策に係る新しい法律が成立し、国でも少し動きが出てきたところです。具体的には、周辺住民や自治体が、問題のある空き家だと特定した場合、手続きを経て所有者に代り自治体が解体できる内容も含まれています。

■もし家をリフォームする場合は、町から補助はできるのでしょうか。

政策推進課長：町の西山材を使った場合やリフォームに対する一部補助があります。また、空き家の利活用の促進を図るため、利用者に対する補助もあります。

町長：住民登録をおこない、住んでいる家に西山材を使いたい、雪下ろしをしないですむように屋根を変えたいなど、用途に応じた補助があります。町では最大100万円までの補助を準備しています。



▲町立わかば保育園



▲工事が始まった県道大江西川線（貫見側）

楯山公園災害復旧工事 今後の予定

身体障がい者用
駐車場（来年度整備）

※一般の駐車場は国道458号線
沿いに整備します

カラー舗装工事
（来年度整備）

公園周辺に芝生を植栽
（来年度整備）



▲ワイヤーウォール工法による土留め整備

◀ジオファイバー工法による斜面工事

1 ■ 2種類の工法で がけ崩れを防止 ～楯山公園災害復旧工事～

現在、平成25年の7月に発生した豪雨災害で被害を受けた国指定史跡左沢楯山城跡（楯山公園）の災害復旧工事をすすめており、平成26年度は楯山公園東屋前の崖の復旧工事などをおこないました。

東屋前の崖で、緑色に見える部分には植物の種が入った土が詰まっているので、いずれ崖面が緑化して周辺環境に順応する予定です。また、麓から眺めると濃い茶色に見える中腹部分は、土と特殊な繊維を法面に吹き付け、崩れた崖の養生と緑化を図るジオファイバーという工法で工事をしました。緑色に見える崖の上部は、金属の網を設置しながら急な角度で土を積み上げるワイヤーウォール工法を選択したため、東屋前の平場が広くなりました。

今年は、楯山公園全体の整地やカラー舗装、障がい者用駐車場の設置、芝生の植栽などをおこなって、お城があった昔の地形が分かるようにするとともに、多くの方から快適に利用いただけるような環境づくりを進める計画です。



▲1台で家全体を暖める薪ストーブ

◀2階廊下より

■新しい農業生活を 大江町型住宅で ～新規就農者用住宅完成内覧会～

大江町で新しく農業を始めようとする方に優先的に貸し出される、新規就農者用一戸建て賃貸住宅の完成内覧会が1月31日、望山区内でおこなわれました。

住宅は木造2階建てで、延べ床面積が約86㎡です。1階にリビングやキッチン、和室などがあり、2階は廊下から1階が眺められる吹き抜け式の構造になっています。

建築材には、町有林から切り出された西山杉を使用しており、壁の板材を通常の3倍厚みにすることで、地震に強い構造と高い保温性を実現しています。

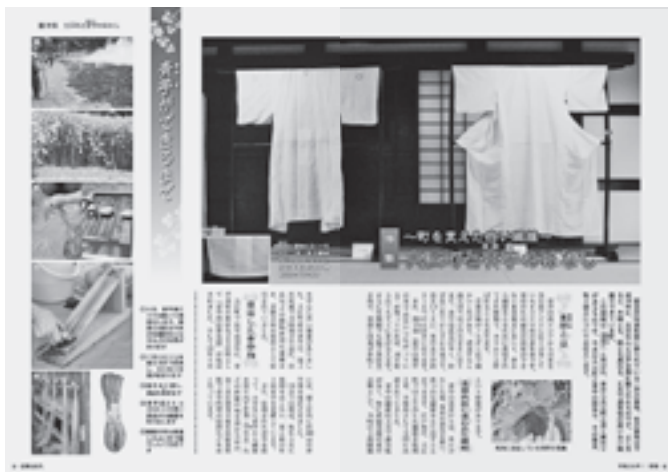
また、使用された西山杉は耐久性は問題ない、主に曲がりや節がある木材を使用することで、町産材の利用拡大を図っています。

3 ■広報誌&映像が ダブル受賞 ～山形県市町村広報コンクール～

平成26年度山形県市町村広報コンクールの結果が1月下旬に発表され、広報町村の部で本誌2014年11月号が、映像の部で大江町の魅力発見VTRがそれぞれ入選一席を受賞しました。

広報おおえ11月号では、江戸時代に大江町の主要な特産品だった青芋を、生産過程、歴史、現在の取り組みの3つの視点から紹介しています。大江町の魅力発見VTRでは、町内で炭焼き活動をおこなっている方々に密着取材し、その生産過程や炭焼きに対する思いを7分程度にまとめています。

広報誌は8年ぶり、映像は初の入選1席になりました。町民の皆さまの日頃のご理解とご協力に、あらためて感謝申し上げます。



◀広報誌町村の部
11月号
入選1席
特集「大江町と青芋」



▲映像の部 入選1席 大江町の魅力発見VTR「炭焼き」
大江町ホームページ トップ > 組織一覧 > 各課からのお知らせ > おおえの地域おこし協力隊 からご覧になれます

▶庄司菜さん（らふらんす大江）



▲庄司樹さん（庄司林業）



▲佐藤完さん（消防署大江分署）

■町内で働く若者の声を紹介4 ～「大江で働く人たち」発刊～

町内で働く若者を紹介するパンフレット「大江で働く人たち」が初めて発刊されます。

これまで町では、就職活動をおこなっている若者向けに職場を紹介する「企業ガイドブック」を作成してきましたが、もっと「人」に焦点を当てた内容のものを作ってほしいという要望が、高校生を中心にありました。

これを受け、今回の「大江で働く人たち」では、町内の消防、林業、介護の分野で働く3人の仕事の現場や思いなどを紹介し、大江町で働くイメージを持ってもらえるような内容となっています。

完成後は町内各世帯や大江中学校、左沢高校を中心に配布されますので、ぜひご覧ください。

みんなで守り未来へつなごう私たちの公共交通 第4回



楯山さん

大江町生まれ大江町育ち50代
普段はマイカー通勤。鉄道・バスはめったに乗りません。

おらだの公共交通を守るために、何ができるんだべ？

現在、都市部だけでなく地方においても「モビリティ・マネジメント」という取り組みが広がっています。



車掌さん

公共交通のエキスパート。
バスや鉄道についてわかりやすく解説する。

※モビリティ・マネジメントとは…過度に自動車に頼らず公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段をかしこく利用すること

天気がいいので
自転車で出勤
いつもよりスッキリ
した気分♪



お気に入りの
本を読みながら
自分だけの通勤時間を
楽しもう



身近なところに
楽しさいっぱい！



車と違う高さから
窓を眺めたら、
いつもとは違う
発見があるかも



公共交通に乗っておでかけしてみよう♪

出典：有限会社朝日町ワイン HP、寒河江八幡宮 HP より



大江町 柳川温泉
大江町スクールバス
【柳川温泉停留所】徒歩1分



大江町 山里交流館やまさあべ
大江町スクールバス
【西小学校前停留所】徒歩1分



朝日町 ワイン城
山交バス寒河江～宮宿線
【明鏡荘前停留所】徒歩1分



寒河江八幡宮
山交バス寒河江～宮宿線
【寒河江八幡前停留所】徒歩2分

3歳児 Smile Photo

スマイル フォト



い が ら し る し あ
五十嵐瑠幸ちゃん
12区



い し が わ ら い お
石川来夢くん
伏熊



さ と う ゆ な
佐藤結愛ちゃん
木の沢



はやし てつぺい
林 哲平くん
蛍水

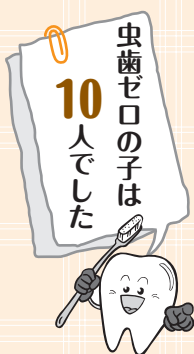


あ ら き かなで
荒木 奏ちゃん
蛍水



こ ん の ゆ な
今野由愛ちゃん
月が丘

2月4日に3歳児健診を受けた元気なちびっ子たちを紹介します!(順不同)



わたなべ あらた
渡辺 新くん
用



わたなべよう た
渡辺陽太くん
塩野平



おおいずみ そら
大泉 昊くん
月が丘



いとう ろい
伊藤侶夷くん
小見

※お問い合わせは、健康福祉課 ☎(62)2114まで



この日は、左沢小学校と本郷東小学校の新入学生オリエンテーションがおこなわれ、特別ゲストとして参加したモンテディオ山形のマスコットキャラクター「ディーオ」から、「春から安全に通学して欲しい」との願いを込めながら、ランドセルカバーが手渡されました。

**新入学児童
ランドセルカバー贈呈**

2月4日、大江町交通安全母の会と町防犯協会が、来年度小学校に入学する子どもたち56人にランドセルカバーと防犯ブザーを贈呈しました。





2/8 木にキャラクター描いてみよう

美郷区コミュニティーセンターで2月8日、ウッドバーニングのワークショップがおこなわれました。

ウッドバーニングは、専用の電熱ペンを使い木の表面を焦がして絵や模様を描くものです。当日は、美郷区内の小学生25人が参加し、アニメキャラクターのイラストなどに挑戦しました。

ワークショップは、同センターを生かした地域活性化事業としてはじめて開催され、ウッドバーニングの他に、廃油を原料にしたカラフルなアロマキャンドル作りもおこなわれました。



1/25 森の香りを石けんに

自然と人が寄り添ったライフスタイルや、ものづくりを提案する So-ten nen プロジェクト（代表 庄司樹さん）が1月25日、マルセイユ石けんづくりのワークショップを開催しました。

石けんには、原料となるオリーブ、ココナツなどの良質な植物油の他に、町内の里山に自生するクロモジのアロマオイルちんせいが加えられました。

クロモジには、鎮静や保湿などの効果があります。指導した小角逸子さんは「地元産のアロマオイルを使った特別な石けんがあるとお風呂がさらに楽しくなりますね」と話してくれました。



2/15 色鮮やかな海山の幸、スペイン料理

おおえ国際交流協会による世界の料理教室スペイン料理編が、2月15日に開催されました。

スペイン料理の特徴はオリーブオイルとにんにくを使用するところにあります。参加者は、パプリカやエビ、ムール貝をパスタとともに煮込む



フィデウア（パスタのパエリア）やジャガイモとズッキーニがたっぷり入ったスパニッシュオムレツなどに挑戦しました。



2/8 雪灯ろうの火、神社を彩る

2月8日、三合田区内にある金毘羅神社こんびら（村社そんしゃ）で、はじめてとなる雪灯ろうまつりを開催されました。

当日は、地区の役員が集まり大小合わせて約180個の灯ろうを作成。夕暮れを待って点灯されると、真っ白な灯ろうと、オレンジ色をしたロウソクの火が幻想的な光景を作り上げました。

柏倉五郎区長は「地区民の協力もあり、予定よりも早く完成することができました。想像したよりもずっときれいで、びっくりです」と仕上がりに満ち足りていました。

2/11 大回転競技でタイム競う

2015小鳥山スキー大会が2月11日、小鳥山スキー場で開催され、各種大回転競技に小学生から一般まで46名が出場しました。

出場者は、設置された旗門を交互に通過しタイムを競い合いました。なかには親子で参加する選手もあり、お互いにタイムを競いながら、果敢にコースを攻めていました。

大会結果 ※優勝者のみ

★小学生2年生以下の部 大回転

男子／櫻井 佑樹（左沢小）69秒43

女子／工藤 レア（左沢小）63秒92

★小学生3・4年生の部 大回転

男子／門脇 千尋（左沢小）59秒76

女子／板坂 陽奈（本郷東）59秒93

★小学生5・6年生の部 大回転

男子／工藤 楽来（左沢小）48秒79

女子／伊藤 瑞望（左沢小）55秒63

★中学、高校の部

佐藤 直斗（朝日学園）62秒43

★一般の部 大回転

大江 光洋（9区）47秒14



2/21 スピード感抜群!!スノーチューブ

大江町の自然をテーマにさまざまな活動をおこなうドキドキ自然体験塾で2月21日、スノーチューブ滑りを開催しました。

スノーチューブとはゴム製のチューブを使って、雪のスロープを一気に滑る雪遊びで、会場となった朝日少年自然の家にはジャンプ台付の直線や急カーブなど4つのコースが設置されています。

参加した子どもたちは「すごい早さで滑れる」「気持ちいい」といいながら何度もコースを往復し、スピード感あふれる雪遊びを楽しんでいました。



2/15 万が一に備え、救助法を学ぶ

大江町山岳遭難救助隊が2月15日、小鳥山スキー場付近の斜面を利用して、救助に必要な技術を学ぶ研修会を開催しました。

当日は、谷底に滑落した遭難者の救助を想定し、半分もしくは3分の1の力で引き上げられるように滑車とロープを組み、100kgの重りを引き上げる訓練がおこなわれました。

中心となった高取和彦遭難救助隊隊長は「遭難はあってはならないことですが、発生した場合は素早く救助することが重要です。訓練を重ねて万が一に備えたいです」と話してくれました。

50年前「石油が無
限にあるとは思えない。
未来のために、大切に
使わなければいけな
い」と語る先生は、自宅
から大学までの8キロ
の道のりを愛用の自転

車で数十年間毎日通っていた。夜は危険だと自転車用方向指示機を考案し、取り付けた教え子。自動車の便利さを教える門下生……。それに対し一時の利便の「落とし穴」を諭す先生は魅力的であった。定年も近い。
スキーを「一緒した時、まるで海を泳ぐイルカのように滑る先生には声も出ない。「力是要らない」とスイスイ60歳の先生が滑り下りてゆく体力、脚力、精神力は、若いわれわれを時に越え「落とし穴」にいる自分への無言の人間教授となった。

退職後、先生は「僕にも、石油を使う時がやってきたよ」と自動車に乗った。免許とりたての運転に同乗初心者の運転の「恐怖」よりも、「一人が生涯、使用できるガソリンの持ち分」を考える生き方に「すかさず」を感じた。体力・気力、便利・不便人・機械……。雪下ろしをしながら、先生と屋根の上でしばらくぶりに「世界」を語り合った。ありがとう、先生。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.20

御免町の通り沿いに、風格ある「富士屋」の看板と立派な松木が印象的な、岡田家があります。

岡田家ではかつて青苧商を営み、その後屋号を「富士屋」とし、菓子製造業を生業としたといわれています。また、江戸時代には、松山藩の御用達などの役に就いており、当時交わされた領収書などが今でも大切に保管されているそうです。

敷地内には、道路沿いから北側に店舗、住宅、座敷蔵と続き、南側には庭園、土蔵が配置されています。特に北側の最奥にある座敷蔵は明治時代期のものとされ、切妻造の棧瓦屋根や漆喰仕上げの外壁が美しく、北側の道路沿い長く続く黒塀とともに、古くから続く屋敷の風格を今に伝えています。

岡田家は毎年3月末に開催される大江のひなまつりの会場の一つにもなっており、期間中は当家に江戸時代から伝わる雛を一目見ようと多くの観光客が訪れます。

富士屋（岡田家）



▲漆喰仕上げの座敷蔵

短歌

駅目前子等を送りし車なれど先に進まず子等走り出す

佐竹磨砂湖

冬枯れの庭木黒ずみ傾きぬ老いし姿の我と重なり

菅井 妙子

年始め一人炬燵で読みかけのページをひらく茂吉の赤光

菊地つねよ

春近し白龍山の大般若太鼓の響き神々しきかな

堀 トヨエ

静岡で暮らす孫子の安否問ふ古里包みに便りを入れて

佐竹 麗子

旅のごと別れは急に近づきて生徒等去りて校舎静もる

山家 重之

からからと軒で奏でる凍大根祭りの宴遠き想ひに

佐竹 與鼓

冬の中高校生のつくりたるサイネリアの花わが家に咲けり

斎藤 徳治

俳句

豪雪に老軀溜息してゐたり

菅井 妙子

最上川残雪の壁よじのぼり

阿部 一風

孫座る膝より春の訪れり

今井 茂樹

露天風呂初音の話題ひとしきり

金子脩一郎

空のはて一点青く雪下し

山家 重之

春一番幼子の髪なでゆけり

安藤由美子

春の色消雪金具光りけり

熊谷 勉

春日さす居間の八畳切れ目なく

舟山 三男

煮凝の貌の崩れる茂吉の忌

伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで
役場総務課に作品をお寄せください。



Youthful トーク

「今年度は実習で7カ所の工場を回り、たくさん勉強させていただきました」と話す菊地さん、現在は寒河江市内に本社のある食品加工会社に勤めています。

就職のきっかけは、管理栄養士を目指し病院で実習を受けていた時に、患者さんが病院食をなかなか食べられないことを知ったこと。菊地さんは「いくら完璧な献立をたてても、患者さんが食べられないのでは意味がないと思い、より食べてもらえるような食品づくりも魅力的に感じ、今の会社に就職しました」と話します。

3月から正式に配属される菊地さん「この1年間、仕事はたくさんの人々が支えあって成り立っていると、改めて感じました。支えてくれた家族や職場の先輩に対して少しでも恩返しできればと思っています」と話してくれました。

菊地 亜紀さん (23歳・深沢)

支えあう大切さを学び

地域おこし協力隊通信

No.10



3月で地域おこし協力隊の任期が終了となります。今まで温かく見守ってくださりありがとうございました。3年間を大江町で過ごし、多くの人から支えられる中で活動できたこと、心より感謝申し上げます。

地域おこし協力隊とは地域おこしのヒーローではなく、今振り返ると、何も出来ないが故に皆さまのお力をお借りしながら、ただ前向きに動くことが使命だったと思います。

私は活動半ばから映像制作をメインに取り組んできましたが、これもカメラに映る主役あってこそ出来る仕事で、主役は大江町民の方々に他なりません。

4月からは、“地域おこし”としてというよりも、自分や自分の身近なところから毎日を明るく楽しくするために動いていこうと思います。それというのも、本当の地域活性化とは「自分たちのしたいことから始まる」と考えるからです。今後は、一住民として町の皆さまにお付き合いいただきたいと思いますので、気軽に接していただけると嬉しいです。本当にありがとうございました。

地域おこし協力隊 石坂康平



↑ 塩野平で開催された地蔵様あそび



↑ 柳川温泉駐車場の巨大がまくら作り

お知らせ

Information

観光ボランティアガイド 新規会員募集のお知らせ

観光ボランティアガイドは、町を訪れる人とのふれあいを楽しみながら町を案内しています。案内はもちろんのこと、花の植栽、清掃活動などの活動もしています。町の案内人としてまちづくりに参加してみませんか。できることを、できる範囲内で結構です。協力いただける方は、左記までご連絡ください。

※お問い合わせは、観光ボランティアガイドの会（会長 石川博資）
☎(62) 3540まで

茅葺屋根の魅力語りましょう

茅葺屋根かやぶきの家に住んでいる方、屋根葺き職人、茅葺き屋根研究者があつまり、茅葺き屋根の魅力について話し合います。みなさんのご来場をお待ちしています。

◆日時／3月14日(土) 13時〜

◆場所／大江町立歴史民俗資料館
※お問い合わせは、事務局（高橋）



大江のひなまつり

◆期日／3月27日(金)〜3月29日(日)

◆会場／町内5会場（金子仙之助家、清野太家、岡田文治家、大江町立歴史民俗資料館、お休み処錦庵）

※4会場共通券800円、1会場300円、中学生以下無料

※お問い合わせは、政策推進課 ☎(62) 2111まで

左澤ひな市

◆日時／3月29日(日) 9時〜16時

◆会場／左澤中央通り商店街

◆内容／植木や花、海産物、軽食などの露店

※お問い合わせは、大江町商工会 ☎(62) 4128まで

伝統食のつどい

◆日時／3月29日(日) 11時〜13時30分

◆会場／歴史民俗資料館

※前売り・当日ともに600円

◆内容／ひな御膳（花寿司、青苧もちなど）

音の文化祭「ひなまつりコンサート」

◆日時／3月22日(日) 13時〜

◆会場／東地区公民館

※お問い合わせは、大江町教育委員会 ☎(62) 3666まで

介護教室のご案内

在宅で介護している方や介護に心のある方を対象に介護教室を開催します。

◆日時／3月19日(木) 13時30分〜15時

◆会場／大江町保健センター

◆内容／

・講演 『認知症の介護〜日常生活でのかわり方のコツ〜』

☎090-8926-7125まで

・講師グループホームあじさい
管理者 鈴木悦子氏

◆お申し込み・お問い合わせは、大江町地域包括支援センター（健康福祉課内） ☎(62) 2114まで

「還付金の電話やATMで受け取る」は全て詐欺です

昨年の山形県の還付金詐欺については、認知件数6件（前年比5件増）、被害金額約503万円（前年比約465万円増）と増加しており、特に最近

は詐欺！

付金詐欺の発生が見られます。犯行の傾向としては、犯人グループが被害者を管理者の目が届きにくい大型スーパーマーケットやコンビニエンスストアのATMに誘導し、現金を指定する口座に振替操作させてだまし取る手口が横行している状況にあります。だまされないためにも、次の点に注意しましょう。

①市町村職員などを名乗り、医療費や保険料の還付金をもちかける電話は詐欺！

▶▶ 町税の納め忘れはありませんか？お早めに納税ください。

輝いて
今

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します。



大江町卓越技能者表彰

- 稲村 正光さん (建築大工 伏熊・左)
- 森 道生さん (建築大工 9区・中央)
- 庄司 清信さん (建築大工 藤田・右)

他の模範となる優れた技術を習得した方々を表彰する、平成26年度大江町卓越技能者・技能功労者賞が決定され、町内の企業に勤務する技術者3名が受賞されました。

今回受賞された3名は長年にわたり建築業に携わり、多くの建物を手掛けたほか、若手技術者の育成に貢献されました。受賞者の経歴は、現在役場庁舎の正面玄関にて紹介されています。ぜひご覧ください。



山形県町村監査委員協議会
監査功労表彰 代表監査委員
安藤 宏さん (12区)

長年にわたり町村監査委員の職務に携わってきた方を表彰する監査功労表彰を、町の代表監査委員である安藤宏さんが受賞されました。

安藤さんは、平成21年から5年間にわたり、監査委員として町の事務事業や財務事務の執行・管理の適正化、効率化に貢献されました。

NTT東日本では、4月中旬に順次、新しい山形県版の電話帳を各ご家庭や事業所へお届けいたします。現在

NTT東日本の電話帳を 発行します

※お問い合わせは、(助)消防試験研究センター山形県支部 ☎023-631-0761 まで

※申請書は、各消防本部および(助)消防試験研究センター山形県支部にあります

※お問い合わせは、(助)消防試験研究センター山形県支部にあります

※お問い合わせは、(助)消防試験研究センター山形県支部にあります

消防法令では、危険物取扱者および消防設備士の義務として、免状交付の日から10年以内ごとに写真の書き換えをしなければならぬ規定となっております。写真の書き換えをされていない方は速やかに手続きをされるようお知らせします。

危険物取扱者・消防整備士 免状の写真書き換えを

④警察への相談電話は#9110

③相手から聞かれても、自分の連絡先や金融機関口座などの個人情報はお教えしない

②「還付金の手続きを教えるので、キャッシュカードや携帯電話を持ってATMまで行ってください」は詐欺!

①「お使いの電話帳は、お届けの際に回収いたしますので配達員へお渡しください。回収した電話帳は、環境保護や資源の有効活用のため、新しい電話帳の原材料となります。」

なお、ご不在などで配達員に電話帳を渡せなかった場合、左記「タウンページセンタ」までご連絡いただければ、後日、改めて回収にお伺いいたします。

※お問い合わせは、タウンページセンタ ☎0120-506-309 まで

編集 後記

活では火を見る機会には少ないので、さらに魅力的に感じます。寒い冬の中、癒しの一時でした。
(山家雄志)

薪 ストープに触れる機会がありました。新規模農者用住宅の内覧会の時です。刻一刻と変わる炎を見ているだけで不思議とあきないものです。外が寒いこともあるかもしれませんが、会場を訪れた人も次々とストーブの回りに集まり、リラククスした様子で炎を眺めていたことが印象的でした。後で調べたところ「人間は火が本能的に好きで、安らぎや癒しを感じる」らしいです。電気や石油のヒーターが主流になっていく今の生活では火を見る機会には少ないので、さらに魅力的に感じます。寒い冬の中、癒しの一時でした。
(山家雄志)



「雪の左沢線」 大江写真愛好会 安藤幹雄

リレー随想／ 《第93回》

地産地消で変わる社会

月日が経つのは早いもので震災、原発事故から4年が過ぎた。あれから私たちの生き方に変化はあったのだろうか。

現代の生活は、貿易によって世界中から集まってくる資源なしには維持できない。そこに見え隠れする危うさは「日々の生活で消費する行為」が何と繋がっているのかを考えてみ

ると見えてくる。

安さを求めた先には、輸入元である発展途上国が安価な生産方法を維持し続けなければならない問題があり、利便性を求めた先には機械の材料となる海外の鉱物資源やエネルギー資源を確保しなければならぬという問題がある。その結果として、世界各地で紛争や環境破壊・汚染の問題が生じている。

さらに産業革命以降の急激な環境変化によって、驚異的なスピードで地球上の生物種が絶滅している。食物連鎖でわかるように、どんな生物にも存在意義がある。生物多様性が損なわれることで崩れたバランスは巡り巡って私たちに返ってくることは避けられない。快適さを追求する社会が産む大きな弊害である。

ただし、その原因と見られがちな商社やメーカー、小売店も、われわれ消費者のニーズに応えようとより安く、より便利なものを提供すべく昼夜努力していることもまた事実である。消費という形で深く関わるわれわれだが、このような事柄は、つい他人事としてしまいがちだ。綺麗なパッケージや魅力的な広告の裏側にはさまざまな問題が隠れている。子どもたちや未来の子孫、自然の中に生きるさまざまな生き物は、選

挙権もなければ人間に逆らう力もない。だからこそ私たち大人が、今ある課題を正しく分析・判断し行動していく必要があると思う。

その行動とは何なのか。私はその答えの一つが地産地消の農業だと考えている。身近な場所で採れる旬の農作物を食べることができ、材料、労働力ともに地元の商品やエネルギー資源で成り立つ社会は、地球全体の自然環境やわれわれ人類の存続期間も延ばしてくれるだろう。

地域に根差した文化は、無い物ねだりのグローバル的ではなく、足るを知るローカルなものだからこそ価値がある。そんな社会づくりが我慢を強いられるものではなく、楽しみながら成し遂げられたら最高だ。

この課題は、高度な技術開発だけでなく、環境汚染や少子高齢化などさまざまな問題に積極的に取り組んでいる日本だからこそ率先して取り組むべきであると思う。

大きな変化はすぐには難しい。しかし意識することから行動は変わり始める。既存の社会構造は不完全なものであることを認識し、温故知新で楽しい社会の形を創造して次世代へと繋いでいきたい。

(伏熊 橋本光弘)

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
みなみ	齋藤 駿介 ^{しゅんすけ}	男	雄也・知美
9区	若松 瑠泉 ^{るせん}	女	昌彦・明美
みなみ	公平 雄人 ^{ゆうと}	男	智之・裕美
堂屋敷	阿部 暁太郎 ^{あべ しょうたろう}	男	恵一郎・亜香音
滝の沢	渡辺 煌雅 ^{こうが}	男	達郎・純

ご冥福を祈ります

9区	橋本 ヨス子	(95)
諏訪原	鈴木 かつ江	(96)
藤田	伊藤 仁	(65)
6区	井上 昭一	(88)
顔好	鈴木 善一	(90)
藤田	峯田 みちよ	(94)

人口と世帯(前月比)

町の人口	8,839人(+5)
男	4,356人(+12)
女	4,483人(-7)
世帯数	2,939戸(+16)

平成27年3月1日現在

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名	区名・出身地名	氏名
(木の沢)	小林 徹	(蛍水)	鈴木 伸
(寒河江市)	国井 奈美	(寒河江市)	中野 和
(12区)	島 幸男	(諏訪原)	石沢 健翔
(上山市)	高橋 恵	(寒河江市)	田中智奈美



戸籍の まど

1月21日～2月20日受付分